

2021年度 活動報告

外国人支援団体 メディサポふくい
代表 渡邊 寧佳

目次

01. 団体概要

- 設立背景
- 活動コンセプト

02. 利用の流れ

- 通訳派遣の流れ
- 翻訳の流れ

03. 活動実績

- 通訳派遣実績
- 翻訳実績

04. メディア出演

- 福井新聞
- FM福井
- NHK福井支局

05. 課題・目標

- メンバー募集
- 資質向上
- ネットワーキング
- 宣伝活動

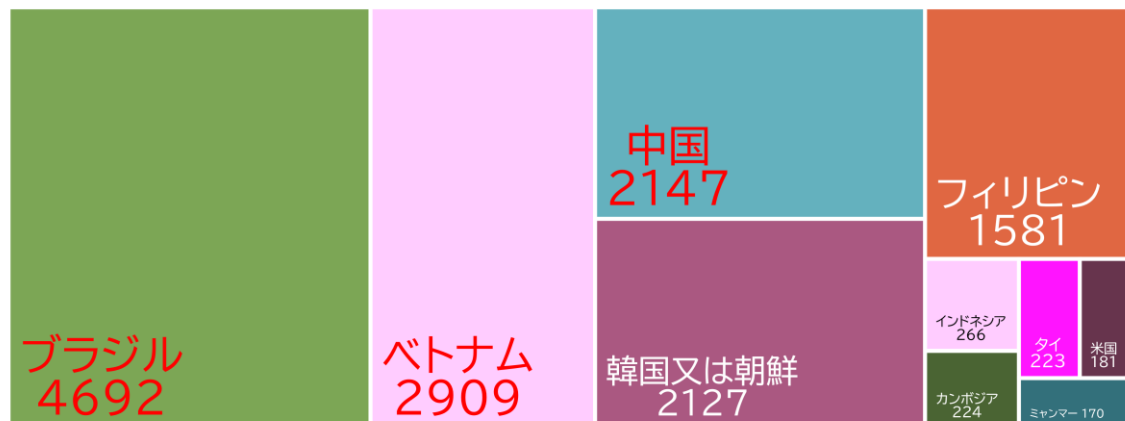


設立背景①(福井県内の外国人住民の状況)

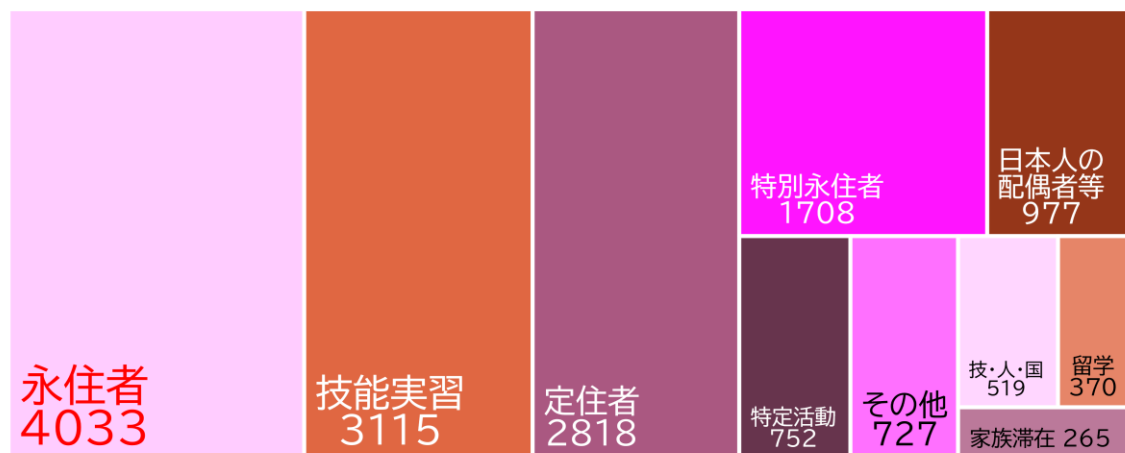
在住外国人の多様化

県国際経済課の調べによると、令和3年12月末現在の外国人住民数は**15,284**人となっている。

福井県の外国人住民数(国籍別)



福井県の外国人住民数(在留資格別)



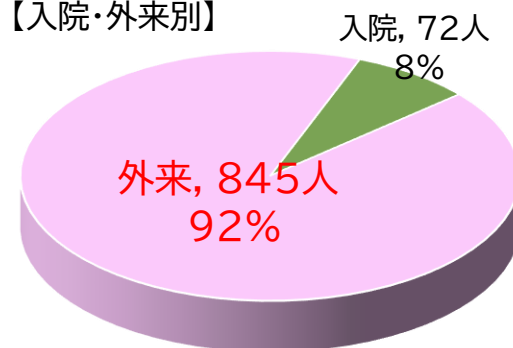
参考：「福井県の外国人住民数」（令和3年度12月）

医療ニーズの高まり

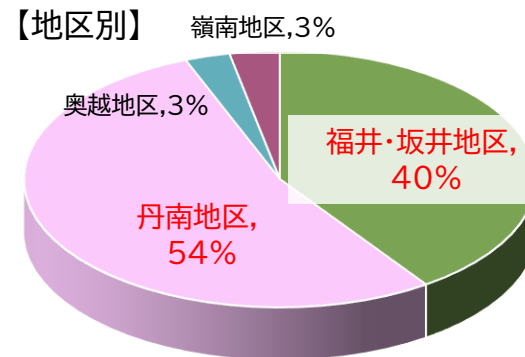
県地域医療課の調べによると、コロナ前の平成30年10月診療分の外国人患者数は、総計**917**人となっている。

福井県内の外国人患者の状況(平成30年10月診療分)

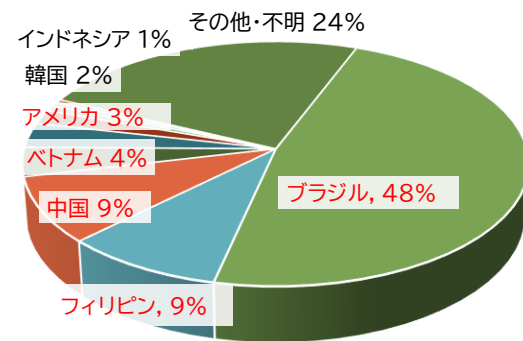
【入院・外来別】



【地区別】



【国籍別】



年間外国人患者数(12か月分)

約11,000人/年間

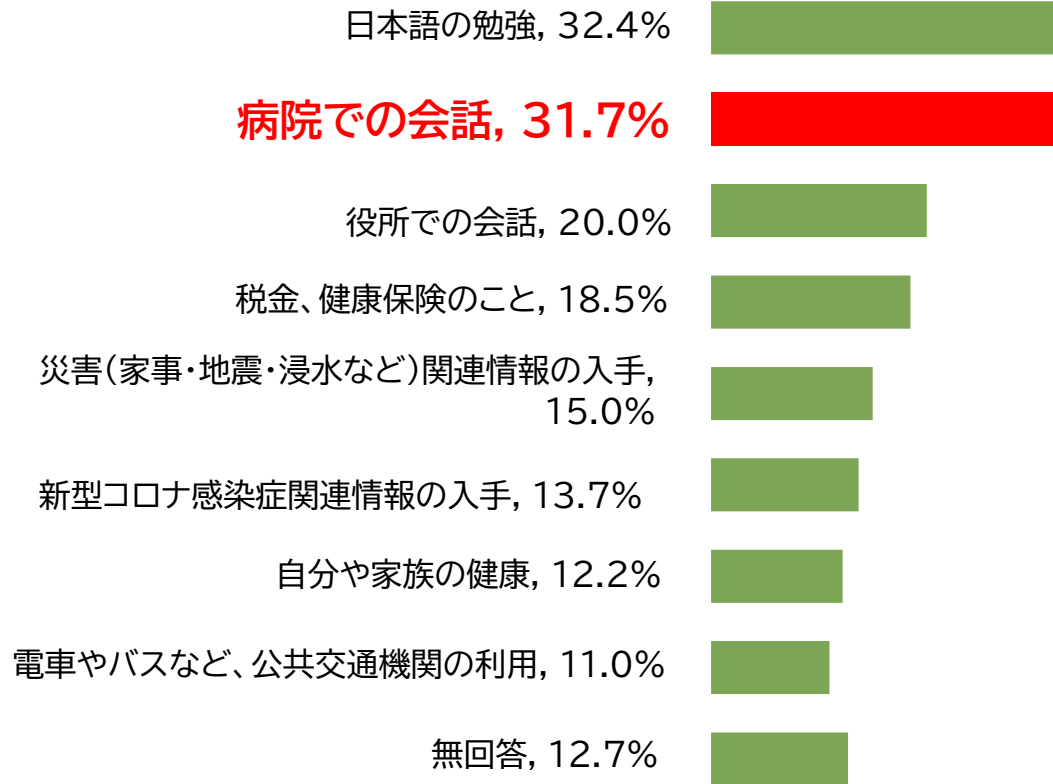
参考：「福井県内の外国人患者の状況（平成30年10月診療分）」

設立背景②(県内の外国人医療支援の状況)

医療通訳ニーズの高まり

県民アンケートにおいて、生活上困っていることに「**病院での会話**」と回答した人が**31.7%**いた。

生活上困っていること(複数回答)上位10位



参考:「福井県多文化共生推進推進プラン 県民アンケート」

外国人患者受入れ拠点病院の選定

多言語対応可能な拠点的な医療機関が選定された。
重症患者(カテゴリー1): 2病院
軽症患者(カテゴリー2): 10病院

多言語対応の内容は病院の裁量によって決まるため、受入環境の状況にバラつきがある。
(例)多言語対応ツールの整備(タブレット等)配置、説明文書の多言語化、Voice Traの活用...etc.

日本語によるコミュニケーションが困難な場合の対応
(実際のケース)

- ・ 家族・知人が同行
- ・ 職場や監理団体の通訳が同行
- ・ 語学ができる医療従事者が対応

- ・ 説明理解の不正確性 (≠正確性)
- ・ バイアスがかかる (≠中立)
- ・ 説明、宣告による心理ストレス など

メディサポふくいのコセプト

《コセプト》

◆ 個人へのアプローチ

私たちは、語学スキルとボランティアのマインドを持って、外国人住民と医療機関等との「言葉」「文化」のコミュニケーションの仲介役として貢献します。(医療等通訳、翻訳)

◆ コミュニティへのアプローチ

私たちは、国際結婚や外国籍の親子、外国にルーツのある子ども、その他様々な外国人コミュニティによりそいながら活動します。(子育て交流ひろば、人材の発掘・活用)

◆ 社会へのアプローチ

私たちは、活動を通じて、国籍や文化背景、性差、宗教、価値観に左右されないダイバーシティ社会の実現に取り組みます。(啓発活動、メディア出演等)

《ビジョン》

福井県に暮らす外国人住民が医療・福祉・保健サービスを安心・安全に利用できる環境づくりに貢献し、多文化共生社会の形成に寄与します。

メディサポふくいの事業

《事業内容》

- ① 外国人の医療等サポート事業
- ② 「多文化子育て交流ひろば」
- ③ 担い手(医療通訳・翻訳、多文化共生に関わる人材等) の育成
- ④ 医療インバウンドサポート事業 ※準備中
- ⑤ その他、上記の目的の達成に必要な事業

通訳派遣の流れ

医療機関等に通訳を派遣し、コミュニケーションをサポートします。

1 利用登録

通訳派遣の流れ、利用料金、賠償責任など利用規程に同意を得る
(様式第1号)

3 通訳派遣を依頼

原則1週間前に依頼(様式第2号)
当団体より派遣決定通知

5 結果報告

通訳派遣の結果を当団体に報告
活動時間、通訳者の評価など
(様式第4号)

2 患者説明・同意

通訳派遣への同意
個人情報の取扱い、通訳者の業務範囲など
(様式第5号)

4 通訳派遣

- ① 派遣
 - ② 待ち合わせ(打合せ)
 - ③ 通訳
 - ④ 派遣終了
- ※患者に再度通訳利用について説明

6 請求・支払

原則当月締め。翌月払い。
※支払方法は協議のうえ決定

【利用にあたっての注意事項】

- 万が一不利益や損害が生じた場合は、当団体および通訳者は法的責任の一切を負いかねます。ただし、不利益や損害に関する調査請求に応じます。(賠償責任保険等の補償範囲を要確認)
- **通訳以外の業務(翻訳、代筆、介助、代弁等)は、行いません。**
- 薬局での通訳は、**院内処方**または**病院から概ね100m以内の薬局**です。それ以外の薬局では通訳できません。

対応言語

中国語・ポルトガル語・英語

※その他言語にも対応できる場合がありますので、まずはご相談ください。

翻訳の流れ

外国人患者様等への説明文書、同意書の多言語化をサポートします。

1 相談

電話やメールで翻訳について相談
(翻訳内容、言語、納期、費用等)

見積作成

※内容によって対応できない場合がある。

3 訳出チェック

正しく翻訳されているかを確認し、外国人の方にも伝わる内容かどうかネイティブチェックをする。

5 請求・支払

納品後、請求を送付

※支払方法は協議のうえ決定

2 依頼

説明文書等のデータを送信(発注)

翻訳担当者に依頼

4 納品

内容にもよるが、概ね1週間～3週間に納品できるよう努めている。

【利用にあたっての注意事項】

- 翻訳量、専門性、納期等によっては、お受けできない場合があります。まずは、ご相談ください。
- 法定文書(契約書、覚書、念書など)の翻訳は対応しておりません。

****対応言語****

中国語・ポルトガル語・英語

※その他言語にも対応できる場合がありますので、まずはご相談ください。

通訳派遣

派遣件数: **22**件 (2022年1月～3月)
(中国語: 21件、ポルトガル語: 1件)

【通訳内容】

- ・診察・検査説明・立会い
- ・術前/術後説明
- ・手術の立会い

【診療科】

- ・内科・血液内科、
- ・眼科、耳鼻咽喉科
- ・整形外科
- ・小児科
- ・脳外科

翻訳

【内容】

- ・脳血管撮影に関する説明・同意書
(福井大学医学部附属病院)
- ・新型コロナウイルスで入院・退院する
方への説明文書等 (県立病院)
- ・分娩入院する方への説明文書
(県立病院)

その他メディア掲載

- NHKworld中国語放送局のネットラジオ番組
(2022年1月16日(日))
- 読売新聞
(2022年2月20日(月))

【メディア出演のお知らせ】

FM福井「Morning Tune内『ケアモア』」
(2022年3月21日(月))

「医療通訳」高まる需要

派遣担う民間団体発足

日本語の苦手な外国人患者と医師の「コミュニケーション」をサポートする「医療通訳」の需要が県内で高まっている。昨年には医療通訳の派遣事業を担う民間団体が県内で初め発足した。また、県庁では中国語の通訳しか対応できていないため、異国語交流協会はさまざまな言語に対応できる医療通訳の担い手を養成している。

(野田勉)

中国語以外の養成 県国際協会が支援

県立病院側でも、中国語以外の養成に力を入れている。県立病院では、中国語以外の通訳者も必要とされている。このため、県国際協会が派遣事業を利用する。この制度を利用する場合は、医師や看護師の説明を聞きながら通訳していただく必要がある。中国語以外の通訳者も、安心して活動できるように、県国際協会が支援している。

増加し、20年12月時点で過去最高の1万5133人となっている。

メテイヤサボウイが設立されるまでは、異国語交流協会が病院に通訳ボランティアを紹介する外役になっていた。だが県内で活動する人数は少ないという。協会担当者は在任外国人の増加に伴い「ボランティアでは対応しきれない部分があった」として、医療通訳の派遣事業を担うメテイヤサボウイの発足を歓迎している。今後はメテイヤサボウイと連携し、中国語以外の医療通訳者の養成やこの制度を利用していない医療機関への周知を図る。

県は21年3月に策定した「外国人患者対応セミナー」を、団体として自立して実施し、多文化共生を推進する担い手を増やしてほしいとしている。

県内では、中国語以外の通訳者も必要とされている。このため、県国際協会が派遣事業を利用する。この制度を利用する場合は、医師や看護師の説明を聞きながら通訳していただく必要がある。中国語以外の通訳者も、安心して活動できるように、県国際協会が支援している。

増加し、20年12月時点で過去最高の1万5133人となっている。

メテイヤサボウイが設立されるまでは、異国語交流協会が病院に通訳ボランティアを紹介する外役になっていた。だが県内で活動する人数は少ないという。協会担当者は在任外国人の増加に伴い「ボランティアでは対応しきれない部分があった」として、医療通訳の派遣事業を担うメテイヤサボウイの発足を歓迎している。今後はメテイヤサボウイと連携し、中国語以外の医療通訳者の養成やこの制度を利用していない医療機関への周知を図る。

県は21年3月に策定した「外国人患者対応セミナー」を、団体として自立して実施し、多文化共生を推進する担い手を増やしてほしいとしている。



医師・右と中国患者中央の会話を通訳する医療通訳者。1月26日、福井市の県立中央病院。

外国人患者対応セミナー 来月、医療者向け

県内の医療・保健従事者ら向けに、医療通訳をはじめとする外国人患者への対応を学ぶセミナーがオンラインで開かれる。同日まで参加を募っている。

県国際協会が主催。県立大学看護センターのロレイン・サッカ准教授が医療通訳の役割を紹介する。県立大看護学部の上木礼子講師は、外国人患者の受け入れに対する県内の医療機関の現状と課題について講演する。

午後1時半～3時半。定員40人。参加無料。県国際協会が主催。申し込みは、県国際協会事務局（電話076-2808000）まで。申し込みは、県国際協会事務局（電話076-2808000）まで。

(野田)

2022年2月19日 福井新聞

課題・目標

➤ 人材確保・資質向上

- ・人材：通訳（ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語など）
- ・人材：コーディネーター（通訳や翻訳の依頼をコーディネートする）
- ・アドホックやアマチュア ⇒ プロの医療通訳

➤ NPO法人化

- ・NPO法人化し、行政や医療機関等からの信頼性を高める
- ・ボランティアの精神を持ちながら、地域課題に取り組むコミュニティビジネスを行っていく

➤ ネットワーキング

- ・国際交流協会など外国人支援団体との連携 ⇒ ニーズのマッチング、リソースの提供
- ・医療、福祉、保健機関との連携 ⇒ 医療通訳の利用促進、安全なサービスの提供

外国人・日本人双方にとって、より安全・安心な暮らしを提供するために

ご清聴ありがとうございました。

問い合わせはこちら ↓ ↓ ↓



medifuku01@gmail.com

